

日本遺産や麒麟獅子について インターネットアンケート調査結果

- 1 調査の概要
- 2 回答者について
- 3 調査結果

令和4年3月
鳥取市企画推進部文化交流課

1 調査の概要

（１）調査の目的

日本遺産や麒麟獅子の今後の活動に役立てるため、日本遺産や麒麟獅子に対する市民の意識などを調査する。

（２）調査方法

①調査対象

令和３年度鳥取市広報モニター１００人

②調査方法

インターネット上に設置したアンケートに回答

（３）調査期間

令和４年２月２２日（火）～令和４年３月１日（火）

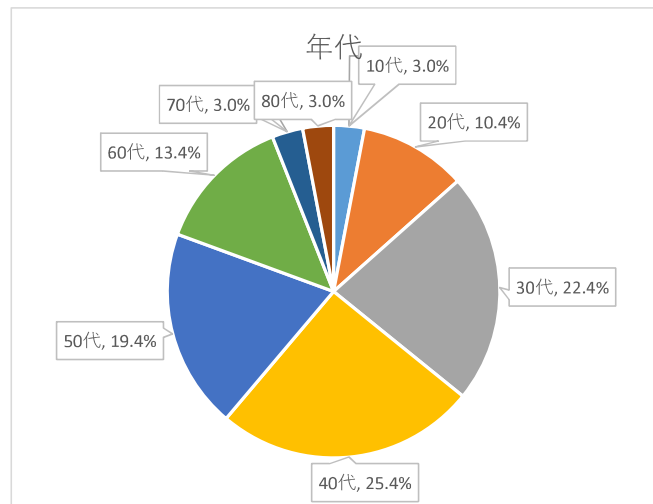
（４）回答者数（回答率）

67人（67％）

2 回答者について

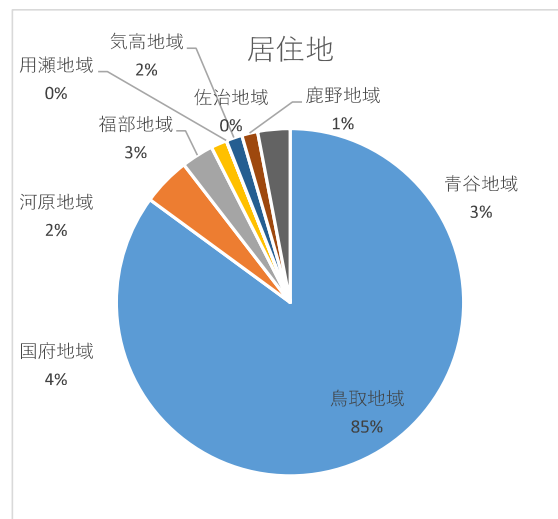
○年代

	回答者数	回答者割合
10代	2	3.0%
20代	7	10.4%
30代	15	22.4%
40代	17	25.4%
50代	13	19.4%
60代	9	13.4%
70代	2	3.0%
80代	2	3.0%
合計	67	100.0%



○居住地

	回答者数	回答者割合
鳥取地域	57	85.1%
国府地域	3	4.5%
福部地域	2	3.0%
河原地域	1	1.5%
用瀬地域	0	0.0%
佐治地域	0	0.0%
気高地域	1	1.5%
鹿野地域	1	1.5%
青谷地域	2	3.0%
合計	67	100.0%

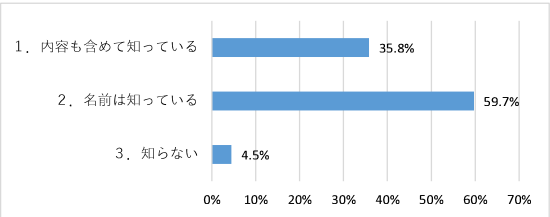


3 調査結果

問1 日本遺産を知っていますか。

回答	回答者数	回答者割合
1. 内容も含めて知っている	24	35.8%
2. 名前は知っている	40	59.7%
3. 知らない	3	4.5%

67



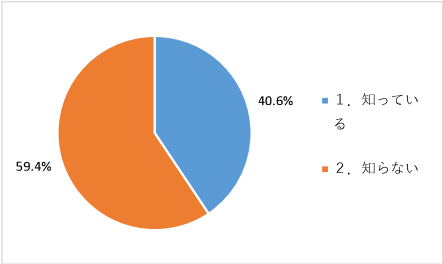
問2 鳥取市を含む「麒麟のまち」にも日本遺産があることを知っていますか。

回答	回答者数	回答者割合
1. 知っている	26	40.6%
2. 知らない	38	59.4%

回答者数

64

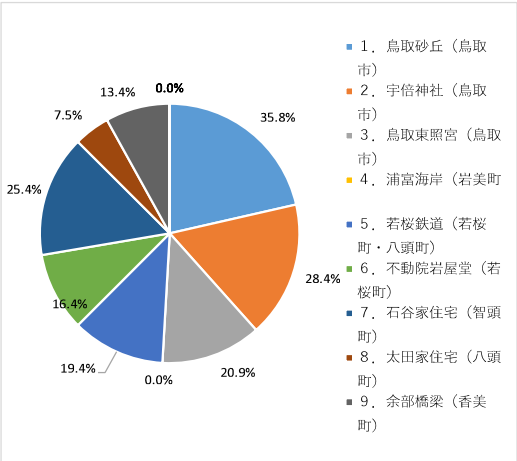
※問1で「3. 知らない」を選択した人は回答しないため、合計数が67にならない



問3 この圏域の日本遺産ストーリーを構成する文化財で知っているものはありますか。

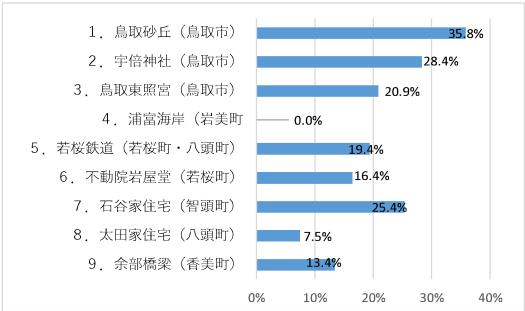
回答	回答者数	回答者割合
1. 鳥取砂丘（鳥取市）	24	35.8%
2. 宇倍神社（鳥取市）	19	28.4%
3. 鳥取東照宮（鳥取市）	14	20.9%
4. 浦富海岸（岩美町）	0	0.0%
5. 若桜鉄道（若桜町・八頭町）	13	19.4%
6. 不動院岩屋堂（若桜町）	11	16.4%
7. 石谷家住宅（智頭町）	17	25.4%
8. 太田家住宅（八頭町）	5	7.5%
9. 余部橋梁（香美町）	9	13.4%
10. 但馬御火浦（新温泉町）	0	0.0%
11. 因幡・但馬の麒麟獅子舞	0	0.0%
12. その他	0	0.0%
13. 知らない	0	0.0%

67



問4 構成文化財の中で特に印象深いものを教えてください。（複数回答可）

回答	回答者	回答者割合
1. 鳥取砂丘（鳥取市）	24	35.8%
2. 宇倍神社（鳥取市）	19	28.4%
3. 鳥取東照宮（鳥取市）	14	20.9%
4. 浦富海岸（岩美町）	0	0.0%
5. 若桜鉄道（若桜町・八頭町）	13	19.4%
6. 不動院岩屋堂（若桜町）	11	16.4%
7. 石谷家住宅（智頭町）	17	25.4%
8. 太田家住宅（八頭町）	5	7.5%
9. 余部橋梁（香美町）	9	13.4%
10. 但馬御火浦（新温泉町）	0	0.0%
11. 因幡・但馬の麒麟獅子舞	0	0.0%
12. その他	0	0.0%
13. 知らない	0	0.0%



問5 問4で選んだものの理由を教えてください。

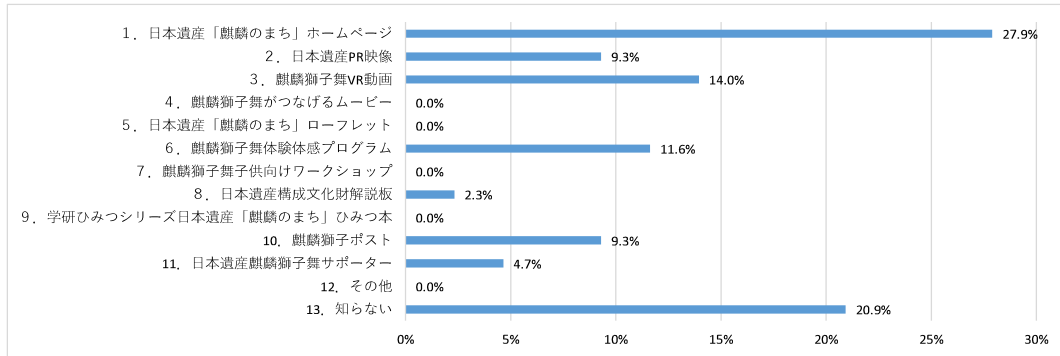
回答
広さと自然の造形美
鳥取県のシンボル
名前をきいたことがあっても内容をよく知っているものはないから。 鳥取県外出身なのであまり知る機会がなかったから、
鳥取に住んでると、宇部神社にお詣りする事も多く、自然と麒麟獅子舞も目にすることがあります。 各地域で、麒麟の獅子の頭もそれぞれ違い猩猩の面の違いも興味深いものがあります。また、石谷家も、鳥取が誇れる文化財です。特に私が印象深いものは、なんと言っても浦富海岸です。山陰の海岸は世界的にも美しく鳥取だけでなく日本が誇れる海岸です。
3 散歩中に参拝します。生活の中に組み込まれている場所です。 6 一度しか行ったことがありませんが、観光地ばくなく、普通にただそこにあるといった感じがとても印象的でした。
県内外に誇れる風光明媚な自然であること。
色々な地区で踊られているものだから
地元の氏神様だから。
鳥取市の魅力だと思うから
鳥取で有名なものだと知っているから。新聞やニュース等
この地域の厳しい環境に合う中で、幸運をもたらすとされた麒麟をあがめ、因幡、但馬の各地（一説によると100を超える）で伝承されて麒麟獅子舞を自らも行っているから
麒麟のまちのストーリーがある
綺麗だけど荒々しい日本海、長きにわたって形成された砂丘やジオパーク、そこに根付く地域の伝承、麒麟獅子舞。 特に理由はないですよ！
元JRの社員なので知っていた
自分自身が幼い頃から慣れ親しんだ文化財なので。
家族とよく利用したり、話題にしたりしてなじみがあるため。
鳥取砂丘 一鳥取大学の乾燥地研究・砂漠緑化の国際化貢献 若桜鉄道 小生が中学・高校時代に通学した交通手段 浦富海岸 小生の幼少時代に過ごした海の街母の故郷、沢田みきさんのサンダースホームなど
麒麟獅子は子供のころから慣れ親しみすぎていて、日本全国でされているものだと思っていたので、初めて鳥取の日本遺産と知って本当に驚いたので印象に残っています。
鳥取県の代表的な観光地であり、認知度ももっとも高いと思われるので。
子供の頃から行ったり見たり、とても身近に感じています。
麒麟のまちサポーターです。

問6 日本お産事業の取り組みについて知っているものを教えてください。（複数回答可）

回答	回答者数	回答者割合
1. 日本遺産「麒麟のまち」ホームページ	12	27.9%
2. 日本遺産PR映像	4	9.3%
3. 麒麟獅子舞VR動画	6	14.0%
4. 麒麟獅子舞がつなげるムービー	0	0.0%
5. 日本遺産「麒麟のまち」ローフレット	0	0.0%

6. 麒麟獅子舞体験体感プログラム	5	11.6%
7. 麒麟獅子舞子供向けワークショップ	0	0.0%
8. 日本遺産構成文化財解説板	1	2.3%
9. 学研ひみつシリーズ日本遺産「麒麟のまち」ひみつ本	0	0.0%
10. 麒麟獅子ポスト	4	9.3%
11. 日本遺産麒麟獅子舞サポーター	2	4.7%
12. その他	0	0.0%
13. 知らない	9	20.9%

43



問7 日本遺産の認知度を向上するためにどのような取り組みが必要だと思いますか。

回答
ポスターやアナウンス、広告などで「麒麟のまち」の枕詞として日本遺産という言葉を使う。麒麟獅子舞はよく耳にするため、聞きなじみがある印象を持った。日本遺産と言う言葉が多用することで、言葉だけでも知っている層を増やすことが出来るのではないかと思う。
SNSを利用したPRが若年層には響きやすいと感じました。 その他に学校生活や子供会などでその地域や場所に訪れて実際に目で見て肌で感じる事ができれば体験として記憶に残りやすいと思います。 地域は知っていてもそこが日本遺産かどうか、となると私自身わからなかったので誇れる部分を行政から進んでイベント等の計画などを用いて発信されたいと思います。
ポスターを見た位で、獅子舞のパフォーマンスや成り立ち等は知識がありません。 コロナ禍でイベント開催もままならないとおもいますが、市民にもっと知ってもらう場面を増やしていく。 広報に視覚的に訴える記事を掲載する。県外の私鉄の月刊パンフレット等に写真記事を載せる。
TV、CM、広告など、幅広くPRしていくことが必要。
広報活動
子供たちへの認知活動
SNSでのPR
各種メディア,SNSでの発信
観光資源として活用する。
市報を読むと 「きりんのまちインフォメーション」で浦富海岸健康マラソンの事が掲載されていたり、仁風閣では「但馬・因幡をつなぐ日本遺産麒麟獅子舞展」のお知らせがあったり、「酒津とトンドウ」が表紙になっていたりしています。市報だけでも、こんなに多くの日本遺産の事が紹介されているにも関わらず、この事を知っている市民が少ないように感じます。 若いひと達は、ネット社会なので、もっと、ホームページを見やすいものにして欲しく思います。文字のフォントや色、構成がもう少し見やすくなると、ホームページを開いた時に、いろいろ検索していても楽しくなるように思います。
CMなどで流してもらうと耳にする機会が増えると思います。(今までも流れていたと思います。しかし、あまり興味が持てる内容ではなかったのだと思います。)
近くに住んでいても、地元であっても知らない事が多いと思います。まずは鳥取に住んでいる人がみんな知っている。自分の街の事だとわかる事が大事だと思います。 コロナ禍で取り組みが難しいとは思いますが、そこに行く、そこに集まるが基本だと思います。
麒麟獅子の歴史、地方文化との関連、取り組みの現状などを、もっとPRをする必要がある。
積極的なPR活動 イベント開催し、CMとか広告で周知する
メディアでの情報発信
SNSで広げる。 日本遺産の周辺の整備を整えて、一致団結して盛り上げる。
観光客を増やす 観光パンフレットでのアピール
鳥取では有名なので全国で広まるように活動したら良いと思います。
日本遺産の意味の説明とそれに対する取り組みを分かりやすく表示をするべきである。市役所に展示して見てくださいではなく、もっとアピールする必要がある。 ストーリーを構成する文化財、継承財のさらなる情報発信。そのストーリーには個別の背景、ものがあり、関連構成する事象もある。それらも含め、インパクトを与える情報発信が必要と思う。
けいのかんの保護のため、ボランティアを募るなどする。スーパーにポスターをはる。 認知度を向上するには、聞く、見る、触るなど、各個人、家庭や社会で、何かで触れる機会を作っていくことだと思いますが、そのものに興味がなければせっかくの機会があっても見過ごしてしまい、印象にも残らないと思います。 日本遺産を知る、というようなところからの普及、啓発でしょうか。たぶん多くの人が日本遺産って？？という方が多いと思います。
テレビのCMや新聞広告に載せることだと思います。ホームページや動画などは、自分が興味を持っていないと目にすることがありませんが、広告なら興味のない人達にも広く伝えられるからです。そして、多くの人が理解できるように、すぐにわかるキャッチフレーズを作るなど、広告にも工夫が必要だと思います。
獅子舞体験イベントや有名人（芸能人）を活用したPR。広告の発信 見てみたい、行ってみたいと思える情報の発信。インターネット、新聞、ポスターなど。 小学校の副読本などで取り上げて、次世代へ伝えて欲しい。
SNSによる口コミの活用
記念イベント開催等での幅広い広報。地域の保育園、幼稚園、小学校でのかかわり。子ども対象の体験講座など。
日本遺産巡りの御朱印帳と周遊モデルコースの作成。鳥取の日本遺産で、何ができるかの具体的発信
SNSでの発信

ご当地ナンバープレートやJ Rを利用した観光キャンペーン
学校の配布物などで周知すれば、子ども達だけでなく親世代も目にすると思う。
マスコミ媒体を使い広める。
『麒麟のまち』の存在を知らないの？
チラシ、SNS等を活用してアピールする。
日本遺産がどのような物なのかという広報活動。
近代日本を支えた遺産紹介を通しての広報活動。
地元の子どもたち（小・中学校）にもっと身近に感じてもらえる取り組みを行うこと。（獅子舞ワークショップ）
正直に言うと、日本遺産という企画が「なにかの二番煎じ」という感が否めません。日本遺産に選ばれたことは、選ばれないよりもすごいと思いますが、なにより麒麟獅子自体が素晴らしいので、意識すべきは、「麒麟獅子を他県の人にどう認知してもらうか」という問題だけかなと思います。（日本遺産をどう認知してもらうかではなく）
若者は興味があまりないと思うのでわかりやすくフリーペーパーやSNSでアピールする。
鳥取駅の構内、市の広報等に日本遺産を知らしめるポスターで宣伝して欲しい。
鳥取駅から大丸に行くまでの通路にそれらしきポスターがあったような気がするがインパクトがなかったのでわかりにくい。
SNSを利用した広報
全国に存在する麒麟獅子を鳥取市に集結する取り組み、いわゆる麒麟のまち推進協議会の活動を一層充実・活性化すべきである。
まずは、テレビやSNSなど若者に発信しないと触れる機会が少ないと思います。そしてそれが山陰の文化として誇れるものと思えるカッコいい発信が必要だと思います。
グッズやチラシでなく、インパクトのある動画一本でも十分だと思います。
イベントなど市民が参加できる催し物の開催
広報が必要だと思う。
麒麟のまちと言われていることにも気づいていませんでした。市報などを見ているつもりですが、入ってないんだと思います。
SNSでの発信が一番だと思います。
特にインスタやYouTubeは今知名度を上げるためには強いコンテンツだと思います。
鳥取は特に四季がはっきりしていると思っているので、同じ場所でも四季折々の風景があると思うので、動画や写真などで発信していけば、より興味を持ってもらえて知名度も上がるのかな、と思います。
また、その場所場所でのイベントがある際もたくさん発信してほしいです。
情報の発信をもっとする方がいいと思う。
市報が届かない家庭もあるのでテレビ、SNSを活用すべき。
県内外の人に知ってもらう機会を増やし 伝統文化の継承にも力を入れる
情報発信。SNSや市報など。
子供向けのチラシ配布など。
学校からもらうチラシ等は子供も大人も興味を持って良く見えています。
まず麒麟獅子がどのような由来で日本的にも貴重なものなのかどういところがかからないと認知度は向上しない。
カニや星を前面に押し出すのも良いが鳥取にこんなものもあるというPRを全面的にしていける必要がある。
日本遺産に訪れる、触れ合う機会を行政活動で取り入れる。小中学生の活動など。
私は鳥取市に引っ越してきて約一年経つが、宇部神社で奉納の舞があるということくらいで、その意味も日本遺産として推進を図ることも知らなかった。コロナ禍ということもあり実際の麒麟獅子舞を見る機会もなかった。
これから認知度を高めるにはやはり、学校とか自治会等のイベントで知識を深める講義などあれば参加したい。或いはYouTubeなどのメディアを通していつでも観れるようにするとか。
SNS等を活用したり、保育園、小学校等に行って体験してもらう。
自己満足的だけではなくもっともっとPRが必要。チャンスをとらえていない気がします。例えば昨年は大河ドラマが「麒麟がくる」でしたが明智光秀と鳥取との関係はないの思いからか、絡めてのPRを遠慮してしまいました。本家はこちらだとの思いがあったのではないのでしょうか。PR手段が弱いと思います。これは観光PRとしての市全体の課題です。少し関係ないですがパンダの「シャンシャン」も「しゃんしゃん祭り」でコラボすればもっと外から人が集まったと思います。ともかくPRが地味です。麒麟獅子舞はどうしても石見の神楽と比較してしまいます。あちらは日本全国から近隣からバスでも訪れているようです（私も行っています。温泉・世界遺産交えて）。一方日本遺産の中にはほとんど宣伝PRもしていないのに訪れるれる所があると聞きます。例；北陸の鍛冶屋さん 日本遺産はBSTVでよく放送されています。
そう考えると派手に行くか、地味に行くか明確にすることが必要ですね。踊りは地味なので要素の一つとしてとらえ全体のストーリーを派手にPRしてはどうか。
もっと沢山のメディアでPRしないとわからない。
日本遺産がどのようなものかも知りませんでしたし、麒麟のまちというのもテレビのニュースで流して見ていたくらいなので詳細は分かりません。私自身、大阪から移住してきているので、「麒麟のまち」がどの範囲なのかまず分かってないので、SNS等で発信し、何処で何をやってるか伝えたほうが良いと考えます。その上で、麒麟のまちの特産品などがあるなら、絞って、ひとつずつ知名度を上げていけば良いのかなと思います。まだまだコロナとの闘いが続きそうなので、YouTube等でひとつひとつの事柄や品物にフォーカスを当て、コロナが終息したら是非訪れたいくなるような発信をしていけば良いと考えます。
イベントの開催やグッズの販売、広告の配布

TVPR
とにかく人の目や耳に入り、認知度を上げないと知らない人は沢山いると思います。何かのイベントに必ずそういったものを組み込む…など。情報誌、TV、ラジオなどの発信も必要だと思います。
あと、保育園、小学校等の教育現場で、分かりやすく、親しみやすいものになる様な工夫など。
広報誌による紹介、地域や顔の見える紹介。小中学校へのアプローチ。
紹介する動画を広告で打つ 短い時間15秒くらいのまとめ動画など
情報媒体での日本遺産の周知
麒麟獅子舞が日本遺産に登録された理由をPRして理解を深めること。 境港市の鬼太郎ロードのように、見える形での取組みを期待します。
メディアなど人の目に付くところで宣伝する。街中にポスターなど貼る。
学校でお知らせする。
情報発信
県外や海外に発信できる様にする為、ソーシャルネットワークをもっと利用する。
新聞 TVで特集したら認知度が上がると思います
テレビで取り上げる。

問8 麒麟獅子舞を知っていますか。

回答	回答者	回答者割合
1. 知っている	64	95.5%
2. 知らない	3	4.5%

回答者数 67

問9 麒麟獅子舞が麒麟のまち圏域だけに継承されている民俗文化だと知っていますか。

回答	回答者	回答者割合
1. 知っている	41	61.2%
2. 知らない	23	34.3%

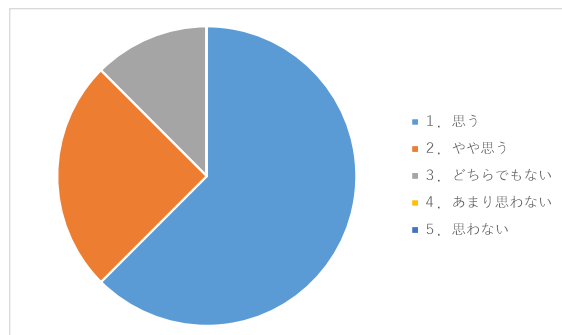
64

※問1で「3. 知らない」を選択した人は回答しないため、合計数が67にならない

問10 麒麟獅子舞を今後も後世へ継承していきたいと思いますか。

回答	回答者	回答者割合
1. 思う	40	59.7%
2. やや思う	16	23.9%
3. どちらでもない	8	11.9%
4. あまり思わない	0	0.0%
5. 思わない	0	0.0%

64



問11 麒麟獅子舞を後世へ継承していくためにどのような取組が必要だと思いますか。

回答
後継者育成
地元の人だけでなく、地域外の人も参加しやすいように、雰囲気づくりなどをする
子どもの参加
まずは身近に感じられる事が1番だと思います。地域の誇りに思える麒麟獅子舞なのでイベントや学校行事などに積極的に取り入れていくのはどうでしょうか。
若手人材育成
認知度の向上
継続的予算の確保
大人だけでなく子どもにも知ってもらうPR活動。小学校、保育園、幼稚園などに行って麒麟獅子舞を観てもらうなど、、、
魅力発信
継承の意味
子供への認知活動
ちゃんちゃん傘踊りのように地域での取組みが必要

小学校等でのクラブ活動への取入れ
担い手の育成
今、現在も行われているように 宇部神社のお祭りの時、そして、 各地域で行われるお祭りの時、猩猩と共に舞われる麒麟獅子の舞。 親から子供へ。その子供からまた子供へ麒麟獅子の舞が受け継がれる事を願います。そのためには、子供達のサポートが必要で、京都の祇園祭の稚児さん達は、数ヶ月、祇園祭に費やすので、その子供達の学校の授業などのサポートはすごいものだと言った事があります。鳥取でも、若者に麒麟獅子舞を繋げていくために仕事、学校等の公的なサポートが必要であると思います。
麒麟獅子舞を後世へ継承することは、必要だと思いますが、興味が持てません。若い人たちに興味を持ってもらうため、SNSを活用し、麒麟獅子舞を周知してもらうことが必要なのだと思います。
継承者の育成
麒麟獅子舞いの魅力の発信と、後継者の確保が一番重要である。
小学校の行事で体験授業など取り入れる
幼稚園や保育園、学校関係の児童への特別授業や見学・体験
麒麟獅子を広める隊を作って活動する。いろんなイベントで紹介したり活動する。
幼稚園の時から麒麟獅子舞の勉強をすること。（紙芝居など）
麒麟獅子舞が今年度色んな場所を巡回していたのは知っていました。市報でスケジュールを見たので子供二人を連れて行きました。獅子舞を操る体験もさせていただき、子供も喜んでいました。暑期中、大変な日もあったと思います。いい思い出になりました。ありがとうございました。
見せる機会を増やし舞の歴史を詳しく説明する事が必要だと思う。
・地域の継承文化財としての地域の認知度向上と行政の取組み支援とさらなる情報発信を推進、拡大する。 ・人口減少、高齢化が進む中、文化財保存のための若年層の認知度向上と獅子舞等参加機会の拡大を図る。 ・観光、交通産業およびメディアとも連携を図り、参加型のイベントの組成、開催をする。 ・過去にあったように、各地の麒麟獅子一体展示のみでなく、一体の保存また記念館等を創る。
興味をいろいろな人に持ってもらうようにしないと舞う人もいなくなってしまう。どういうものか、漫画で紹介する。
麒麟獅子舞は神社だったか、どこかで見たことがあると思います、麒麟獅子も鳥取の伝統工芸師の中村かんじ氏の作品を見たことがあり、麒麟獅子が中国の架空の生き物？？？だったかそのような言われも含めてあやふやな印象ですが、鳥取にこんな素敵な作品を制作される方がおられたということに感動しました。
鳥取県民が麒麟獅子自体を知らない人も多くいらっしゃるのではないのでしょうか
子供達に伝えて行くことが一番だと思います。そして、披露する場所を設けることも、踊り子の士気を上げるのに重要だと思います。例えば、観光客の多い鳥取砂丘に麒麟獅子舞が観覧できる施設を作る。空き店舗を利用するなど経費を抑えることも、市民の理解を得る為に必要だと思います。そして、麒麟獅子舞の日を作ってその日を盛り上げることでアピールになると思います。
地域（地区）の存続のための若者の移住もしくは他地域からの祭りへの参加。地域への補助金
継承者を育てること。
未来を担う子ども達が知ること。
常設の展示場などがあると興味を持つきっかけになる。
SNSでの情報発信
継承したい人を募集
後継者の要請。そのための負担の軽減。
舞に込められた意味を知りたい。
また、舞の構成や、振りにまつわること、地域によって顔や角が違うこと、作り手のことなどを知れるといい。
小学校の地域学習や調べの中で取り上げ、地域の人からその意味を知り体験することで、伝承伝統を引き継いでいく。
SNSでの発信
伝統も大事だが、保存会などの既存の団体にこだわらず、誰もが親しめるように(例えばコスプレ等)するべき！
しゃんしゃん祭でのPR
小さい頃に頭を噛んでもらった子は成長してもその事を覚えている。ご時世的に難しい面もあるが、お祭りやイベントを行うことだと思う。
後世へ引き継がれる人材は確保できているのですか。地元紙や無料のタウン紙に掲載したり、テレビなどで特集を組み、広く認知してもらう。
小学校、中学校等に行って踊りを見せる
麒麟獅子舞の活動を多くの人々が集まる場所で開催して、興味を持つ方を増やし後継者育成活動をする。
小中学校での麒麟獅子舞の活動を通して、興味を持つ子どもを増やし後継者のなり手を確保する。
世代を超えての愛好者を募り、それぞれの人の思いを実感することができたら、何かが見えてくると思います。
麒麟獅子の博物館を建て、観光地化する。
麒麟獅子舞を学校の授業に取り入れる。
麒麟獅子舞がどこで舞われているか等わからない。
麒麟獅子舞イベントがあると良い。
麒麟獅子舞の魅力をもっとアピールしないことには後世継承は難しいと思う。

麒麟獅子舞の体験会の開催
麒麟獅子王国の首都とっとりをもっともっと全国に情報発信すべきである。そのためには、麒麟のまち推進協議会の具体的活動にかかっている。全国の麒麟獅子が一堂に会し、舞の競演やシンポジウムなどを企画して全国に情報発信すべきである。
インバウンドにもっと発信して、まずは海外から。、そうすればおのずと鳥取の若者はこれが誇るべき文化と感じると思います。日本的でありながら、やはり県外の祭りに見劣りしてしまうのは発信力の弱さだと思います。もっと世界を意識した発信が必要だと感じます。
まずは市民の身近になることが必要だと感じる。
地域で応援をする
義務教育課程の学習に取り入れていく
麒麟獅子は地域ごとで踊りの内容が少しずつ異なると聞いたので、動画をの事したり、麒麟獅子舞を体験できるイベントがあればいいのかな、と 思ったりします。 他に、舞の意味はどういった意味があるのか詳しく知る機会があればうれしいです。
若い人に祭典の方法等を継承していかなければならない。
一般 学生 子どもと 麒麟獅子舞に触れるために 体験をしてもらう。 そして披露の場を設ける。
子供たちに興味を持たせるために、学校などへ舞に来てもらうなど、もっと身近に感じられるような取組が必要だと思います。
間7と同様な事もあるが、小さい頃から鳥取にもこんなものがあるという教育が必要。「もっとも人口が少ない鳥取にこんな歴史と活動がある」
お祭りの機会などで振る舞う。
いくつか質問があるのだが、、、 まず獅子舞を舞うことができるのは決まった人々なのか？ 例えば家督とか神社関係者とか。年齢制限とか。 小中学生くらいの生徒が歴史背景とか意味とかを知る機会を学校とか自治体で作るとか。獅子舞に参加するとどういう良いことがあるか大人が教えていく必要がある。 コロナ禍が落ち着けばショッピングモールや駅前などのイベントで披露して、実際に体験できるようにするとか。
地元では祭りの時に獅子舞が踊っています。 それも今はコロナで祭りもなくさみしいです。 鳥取市には顔がみんな違う獅子舞があるのでもっとテレビ等で取り上げてみてはどうでしょう。
後継者養成。見せるホールの確保。先日伊勢神宮の唐獅子舞の育成をTVでやっていました。麒麟獅子舞も全国放送できますか。後世に継承している現場をPRしてはどうですか。
いろいろな場所で見せないと、認知度は上がらない。
麒麟のまち全体の取り組みとして、広く移住者を受け入れる取り組みをし、活気づけていかないことには、受け継ぐ人数も減り、自然消滅するよう な気がします。 昨今の現状を見ればイベント開催なども困難なため、すぐの実現は難しいかと思いますが、移住相談会の会場などで広くアピールしていけば良いと考え ます。 一時的に都会の人を呼び、参加してもらったり出来るようになれば活気づくと思います。
学校で紹介する
地域、学校での伝承
広く沢山の人の知ってもらうには、小学校等の教育現場で、そう言ったことを子ども達にも分かりやすく伝えて行く事で、後世には継承していきやすくなるのではないかと思います。（今現在、そう言った取り組みがされていたら幸いです） 若い人たちが興味を持てる様な活動など。
地域への場の提供。広報。
学校の授業で実際に触れる
後継者の育成
麒麟獅子舞の知名度の向上
学校でのクラブ活動
後世に継承するには若い人に知ってもらうのが良いと思う。若い人に繋げていけばいい。 やはり学校で勉強するのが良いと思います。
若者への継承
各種学校へ内容の働きかけをしていく。
舞う人の育成に力を入れる特になし
分からない。

問12 その他、日本遺産及び麒麟獅子舞についてご意見等がありましたらご記入ください。

回答
鳥取は田舎だと言われますが他県に誇れる日本遺産がたくさんあるのは素晴らしいですね。 麒麟獅子は大丸に展示されていて、結婚して鳥取市に引っ越してきてから初めて認識しました。その後河原の道の駅にも木製の麒麟獅子がある事を発見しだんだんと身近に感じられるようになってきました。実際の舞はまだ見たことはありませんがコロナが落ち着いてきたらイベント等で見られるのを楽しみにしています。
県外出身者です。 わたしの地元にも麒麟獅子舞を舞う地域があり、そんなに特別なものと認識していませんでした。 日本らしい文化なので残って欲しいと思います。 まずは自分が勉強不足なのでこの機会に調べて知ってみようと思います。
数年前、博物館で麒麟獅子展が企画された時、各地域の獅子頭と猩猩の面が展示され鳥取でもこんなに数が多く受け継がれているのに驚きました。その企画展の中で、高校生が舞う麒麟獅子を見ましたが、いつまでも世代を超えて繋げてほしいと強く感じました。あのような、麒麟獅子の展示をもう一度して欲しいと思います。そして多くの市民に麒麟獅子の素晴らしいさを観て欲しいと思います。
麒麟獅子舞いの愛好グループの育成、小中学校での郷土史教育の取り入れ、などが必要である。
地域は勿論ですが、もっと県外へのアピールをしてもいいのかと思います
宣伝はよくおみかけします。わたしも我が子に伝えたい伝統文化ですので、見に行ける時には行きます。これからも頑張ってください。
残すべき地域文化財、人々の継承財として、産業地域振興のツールの一つとしても、発展させたいものだ。
古いものや伝統のあるものを残していくのは難しいですね。興味を持ち楽しめるように工夫が必要ですね。
知らない人が多いと思うので宣伝が必要だと思う。
日本遺産がどのような物なのか分からず、不明瞭な点が多いので 日本遺産に何があるのか、紹介するサイトでの広報をお願いします。
昨年、小学生の孫たちとともに、麒麟獅子舞子ども向けワークショップに参加させていただきました。当日は、智頭農林高校のお兄さんたちに教えてもらいながら、身体全体で麒麟獅子舞を体験させてもらい、とても嬉しかったようです。獅子頭をかぶって、53号線沿いを徒歩で帰宅しました。獅子頭は、物入れになっていますが、今も大切に手許にあります。下の孫はおもちゃの剣で狸々のあやしをすることがあって、時々、つきあわされています。 本当に楽しい体験をさせてもらって感謝しています。個人的には、高校生のお兄さんたちのすがすがしさが印象に残っています。そして、小学生の子どもたちに一生懸命に伝えてくれようとしたことは、孫たちのみならず、他のお子さんたちにも伝わっていることを確信しています。ありがとうございました。
麒麟獅子は、本当に素晴らしい文化だと思います。ところで島根県の浜田あたり(でしたっけ)にいくと、石見神楽のことがどんどん目に飛び込んでくる印象があります。それにくらべて、鳥取市では、そこまでは麒麟獅子のことが目につかないような気がしています。気のせいかもしれませんが…。麒麟獅子はいまも生きた神事で、神事を観光化したくない地元の方もいるかもしれませんが、鳥取の未来のために、ひとつでも多く観光の目玉があったほうがいいと思います(砂丘だけでなく)。麒麟獅子の博物館があれば、それもひとつの目玉になると思います。東北のねぶたのように、通年見られる博物館があるといいと思います。
興味がなかったら知ろうとも思わないので、学校の社会の郷土の授業で積極的に取り入れたらよいと思う。
麒麟獅子舞はポスターぐらいしか見たことがないけどいつ何処で舞ったりするのかをアピールしてもっと興味深い宣伝をして欲しい。
全国に発信してほしい
麒麟獅子舞は物心つく前からずっとなじみがある舞です。それが鳥取しかないものだとか最近知って、より親しみがわきました。 コロナの事もあり、お祭りも少なくなっているので見る機会が全くなくなってしまい本当に寂しいです。 外出も控えなければならない今、動画などでその雰囲気だけでも感じれるのは嬉しい事です。
市内の人でも全ての方が見たことあるわけでは無いと思うので 色々なイベントでも 触れられるといいなと思います。
鳥取砂丘が独り歩きしている気がするのだから他の日本遺産と連携した施設運営であるなりPR活動、交通機関の確保などの取り組みが必要。
大切にしていきたいです。 子どもたちに伝えていきたいです。
コロナ禍が一段落したらぜひ実際の麒麟獅子舞を見学してみたい。
地域によって顔も踊りも違います。 それを全国の皆さんに知ってもらえたらいいかなと思います。
麒麟のまじろの人々が皆さんこれでワクワクしている状況がないですね。前出の石見の神楽は本当に小さい子から大人まで自分の町の舞だと思っています。「八岐大蛇」はもとより「恵比寿さん」なんかお菓子をもらおうと寄っていきます。
麒麟獅子舞はTVでチラッと見た事がある程度で、実際見たことも無く、その麒麟獅子舞の背景も何も知りません。そんな人は沢山いると思います。でも、受け継がれてきたものは、やはりこれからも受け継がれて行くべきだと思うので、とにかく沢山の人の目に触れて、興味を持ってもらう機会を沢山つくるべきだと思います。